

施策 No.	政策名	みんなで築く自治のまちづくり	主管課	財政課	主管課長名	坪井 昭
6-5	施策名	健全な財政運営の推進	関係課	企画課、総務課、税務課、収税課、会計課		

1. 施策の目的と成果把握

目的	施策の対象	対象指標名	単位	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	
	市の財政	①一般会計歳入決算額(見込値は予算額)		百万	見込値	21,430	18,950	17,926	16,904	18,220
実績値					20,201	19,984	18,734			
②一般会計歳出決算額(見込値は予算額)				百万	見込値	21,430	18,950	17,926	16,904	18,220
					実績値	18,981	18,533	17,072		
財政運営が安定し、財政状況が市民に分かりやすく伝えられている。		③財政力指数	①市民一人あたりの貯金の額(基金残高÷人口)	千円	目標値	150	150	150	150	150
					実績値	150	178	191		
			②市民一人あたりの借入金残高(市債残高÷人口)	千円	目標値	340	340	340	340	340
					実績値	413	473	486		
			③財政力指数	-	目標値	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55
					実績値	0.49	0.49	0.49		
	④市税の収納率(現年度)		%	目標値	98.3	98.3	98.5	98.5	98.7	
				実績値	98.4	98.5	98.2			
	⑤ふるさと応援寄附金の額		千円	目標値	14,500	15,000	15,500	16,000	16,500	
				実績値	14,760	19,396	22,031			
成果指標設定の考え方	健全な財政運営ができるかどうかは、①市民一人当たりの貯金額、②市民一人当たりの借入金残高、③財政力指数、④市税の徴収率(現年度)、⑤ふるさと応援寄附金の額で見る。									
成果指標の把握方法と算定式等	①市民一人あたりの貯金の額(基金残高÷人口)、②市民一人あたりの借入金残高(市債残高÷人口)、③財政力指数、④市税の収納率(現年度)は、決算カードより求める。⑤ふるさと応援寄附金の額は決算書より求める。									

2. 施策の成果水準とその背景・要因

1) 現状の成果水準と時系列比較(現状の水準は以前からみて成果は向上したのか、低下したのか、その要因は?)

実績比較	<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した	<input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば向上した	<input checked="" type="checkbox"/> 成果がほとんど変わらない(横ばい状態)
	<input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば低下した	<input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した	
背景・要因	<ul style="list-style-type: none"> 市民一人あたりの貯金の額は、平成30年度178千円から令和元年度191千円と増加した。経費の削減により基金残高が増加したためであるが、今後は基金の増額は難しい。 市民一人当たりの借入金残高は、平成30年度473千円から令和元年度486千円と増加した。大規模事業の実施に伴う市債の発行額が増加したためである。 財政力指数は、平成30年度0.49、令和元年度0.49と横ばいであった。 市税の収納率は、平成30年度98.5%から令和元年度98.2%に低下した。2年3月末までは前年並みの収納率であったため、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の影響があると思われる。 ふるさと応援寄附金の額は、平成30年度19,396千円から令和元年度22,031千円に増加した。要因としては、ふるさと納税制度への関心が高まり、寄附件数が増えたためである。 <p>収納率低下は大きなマイナス要因ではあったが、厳しい財政状況下において経費の削減により、老朽化した既存施設の更新(建替え)の備えとして公共施設整備基金を積み増すことができたため、基金残高が増加した。よって、昨年度との成果比較をおおむね横ばいと判断した。</p>		

2) 成果目標の達成状況

実績比較	<input type="checkbox"/> 目標値のすべてを上回った	<input type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を上回った	<input checked="" type="checkbox"/> 目標値どおりの成果であった
	<input type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を下回った	<input type="checkbox"/> 目標値のすべてを下回った	
背景・要因	<ul style="list-style-type: none"> 市民一人あたりの貯金の額は、目標値を41千円上回ることができた。 市民一人当たりの借入金残高は、146千円上回ってしまった。 財政力指数は、0.06ポイント下回った。 市税の収納率は、0.3ポイント下回った。 ふるさと応援寄附金の額は、653千円上回った。 		

3. 施策の成果実績に対する総括と今後の課題・方針

施策の成果実績に対する総括	今後の課題・方針
<p>施策の目指す姿の実現に向けた取り組みの中で、以下の事業が大きく貢献したと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画的な財政運営の推進には、市たばこ税賦課徴収事務、個人市民税賦課事務、法人市民税賦課事務、固定資産税賦課事務、軽自動車税賦課事務が大きく貢献した。 ふるさと納税への関心が高まりから寄附額が増加し、ふるさと応援基金事業が大きく貢献した。 補助金等検討委員会運営事業においては、委員会を開催し、今後の適正な補助金の執行につながるよう、補助金の見直しを行った。 	<p>今後も大きなプロジェクトが続いていくなかで、健全な財政運営を行うためには、財政計画を作成しながら、予算編成を行う必要がある。</p> <p>市税の収納率については、今後も引き続き、その向上に向けた事業を実施していく。</p> <p>ふるさと応援寄附金の額の向上に向けて、更なる返礼品の開発をしていく必要がある。</p>